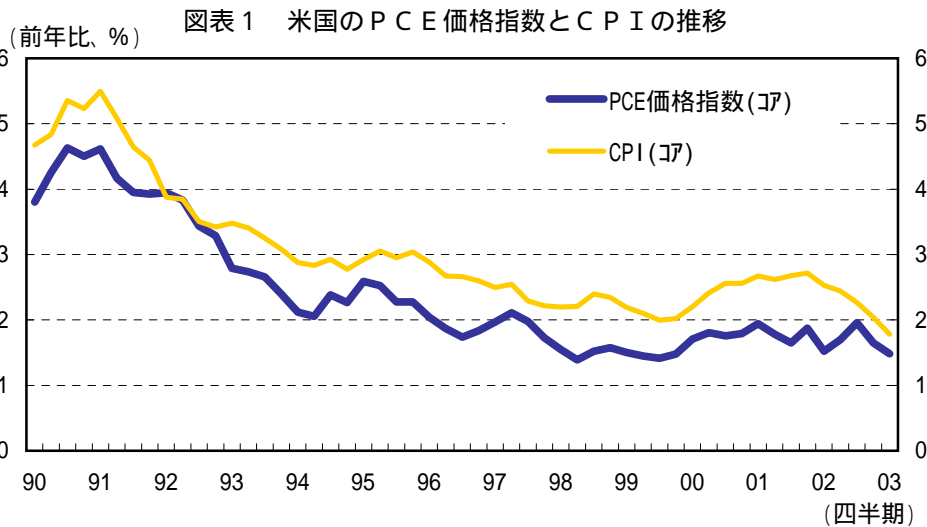


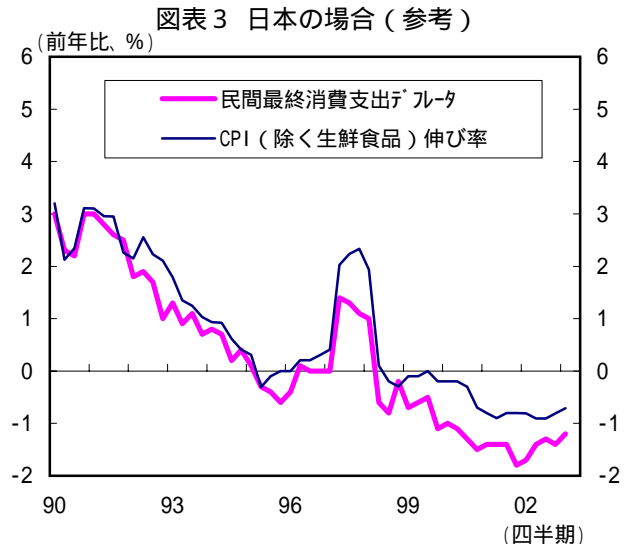
米国の個人消費支出価格指数について

- FRBが着目しているとして注目される個人消費支出価格指数(以下PCE価格指数)は、GDPを構成する個人消費支出(Personal consumption expenditures)のデフレータを指す。
- 代表的な価格指数としては他に消費者物価指数(以下CPI)があるが、指数の計算方法に違いがある。CPIは基準年のウェイトを用いるラスパイレス指数であるため、低価格品への代替効果が反映されず上方バイアスが生じる。これに対してPCE価格指数はラスパイレス指数とパーシェ指数の幾何平均の連鎖指数を用いているため、バイアスが生じにくい。
- この違いの結果、CPIはPCE価格指数よりも高い伸び率となっている。日本についても民間最終消費のデフレータの伸び率はCPIの伸び率よりも概して低い。



図表2 PCE価格指数とCPIの主な違い

	CPI	PCE価格指数
計算方法	ラスパイレス指数 代替効果が反映されないため上方バイアスが生じる	ラスパイレス指数とパーシェ指数との幾何平均 ウェイトの基準年は毎年更新される(連鎖指数)
対象	消費者が直接的に支払う消費支出	保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む



(備考) 1. 図表1はBureau of Labor Statistics, Bureau of Economic Analysisのデータにより作成。
2. 図表3は総務省統計局データにより作成。

(参考) 1. Todd E. Clark, "A Comparison of the CPI and the PCE Price Index", Economic Review, third quarter 1999.
2. Charles Steindel, "Are there Good Alternatives to the CPI?", Current Issues, Federal Reserve Bank of New York, April 1997.
3. Dennis Fixler and Ted Jaditz, "An Examination of the Difference Between the CPI and the PCE Deflator", BLS Working Paper, June 2002.
4. Stephen G. Cecchetti, "The U.S. Inflation Alphabet: A Primer", Occasional Essays on Current Policy Issues No.5, March 2000.

[調査部(経済調査担当) 林 忠輝]

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部
Tel: 03-3244-1840
E-mail: report@dbj.go.jp